

## MSD株式会社

## 企業プロフィール

## 設立

1891年(米国本社創業)

## 本社所在地

東京都千代田区

## 事業内容

製造業(医療用医薬品)

## 従業員数

3,300名

(2020年4月1日時点)

## 年間休日数

125日(2020年)

## URL

<http://www.msd.co.jp/>

## 取組のポイント

従業員のさらなる学び、成長を後押しするため、社外での活動や経験とディスカバリー休暇の取得を会社として推奨。  
海外留学や大学院への通学、副業、異業種交流等のためディスカバリー休暇を活用。

## 取組の目的・概要

- ディスカバリー休暇は、利用目的を問わず、年間40日まで、連続または断続的に無給で取得できる休暇制度である。
- ディスカバリー休暇の目的は、従業員が会社でのキャリアの過程において、自身のキャリアや経験、働き方を見直す機会を作ることで、本人のさらなる学び、成長につなげ、また、休暇期間中に得られた経験を社内に還元することである。社会が今までにないスピードで変化していく中で、従来のやり方に捉われず新しい発想を持って挑戦する人財、変化をポジティブに捉えてイノベーションを起こせる人財が必要だと考えていることから、社員の成長を後押しできるディスカバリー休暇の活用を会社として推奨している。

## 取組内容と特徴

ディスカバリー休暇により  
従業員のチャレンジを後押し

- ディスカバリー休暇は、一般的にはサバティカル休暇と言われている長期休暇制度である。導入のきっかけは、従業員からの「業務が比較的少ない時期に長期休暇を取得し、自己研鑽のための社外活動をしたい」という提案からである。会社としてその趣旨に賛同し、2016年から試行的に運用を始め、2018年に制度化した。
- ディスカバリー休暇期間を無給としているのは、無給の方が気兼ねなく休めるという従業員の声を反映している。
- ディスカバリー休暇の利用用途の要件は設けていな

い。過去の取得事例では、短期の海外留学や、週1回の大学院への通学、副業、異業種交流、ボランティア、子どもと向き合うために学校の夏休みに合わせた長期休暇等がある。ディスカバリー休暇の導入以来、延べ約40人の従業員が利用した。

- 副業のためにディスカバリー休暇を利用することを認めている。副業ガイドラインを制定した上で、社外での積極的な活動を応援している。
- 休暇を取得する際には上司と相談し、各職場で業務の調整やフォローを行う。会社としてディスカバリー休暇の利用を推奨しているため、取得を後押しする雰囲気が社内であり、長い期間のまとまった休みでも、「お互い様」「お互いに迷惑を掛け合ひましょう」という雰囲気が浸透している。休暇を取り終えた後には、所属部署において社外活動で得た経験の発表の機会を設けたり、社内でのイベントで体験談を講演する等している。
- ディスカバリー休暇で従業員が長期間不在にすることにより、現状の業務の見直しの機会となり効率化が進むというメリットがある。ある部門の部長が海外語学

留学のため、ディスカバリー休暇と年次有給休暇を組み合わせて利用し、約2か月間不在にした際には、5人の課長クラスの部下に権限委譲をしたことで部下や組織の成長につながった。

#### その他の特別な休暇制度、年次有給休暇取得促進の取組

- ボランティア休暇は、有給で年間5日間取得可能な制度であるが、2011年の東日本大震災以降、災害ボランティアのニーズが高まったため、それ以降年間10日間を取得可能としている。ボランティア休暇があることで、ボランティア活動参加へのハードルが下がり、多くの従業員が一步踏み出すきっかけづりになっている。半日程度の清掃ボランティアから、自然災害の被災地へのボランティア、2019年のラグビーW杯のボランティア等、活動は多岐にわたっている。
- 裁判员制度休暇は、公務に必要な日数を有給で取得可能である。
- 骨髄ドナー休暇は、検査や入院に必要な日数を有給で取得可能で、数名の利用実績がある。

#### 制度利用者の声

ディスカバリー休暇を活用して、週1日、継続的に大学院に通学し博士課程修了



プライマリーケア・ワクチン部門 疾患領域スペシャリスト 西村 晋一さん

大学院(博士課程、公衆衛生学)への通学に当たりディスカバリー休暇を活用しました。通学当初は、年次有給休暇を取得して業務と学業の両立を目指しましたが、体力的な疲れとともに、周りに申し訳ないという気持ちや年次有給休暇がなくなるプレッシャーによって心理的な疲れも感じるようになり、上司と相談しディスカバリー休暇の取得に至りました。

週1日の授業に加え、試験等で約40日を利用しました。当社のディスカバリー休暇は柔軟かつ簡単に取得できるため、活用しやすい制度だと思います。大学院での学びを検討している社員から相談を受けることも増えました。休暇制度を活用して、ぜひやりたいことに挑戦して欲しいと思います。えてもらいたいと思います。

#### 制度利用者の声

計4週間の短期留学のためにディスカバリー休暇を活用



プライマリーケア・ワクチン部門 ブランドストラテジスト 久保田 秀樹さん

業務で英語を使う中で、さらなるスキル向上のため、一定期間英語漬けの日々を送りたいと思っていました。会社が社外での経験やディスカバリー休暇を積極的に推奨していることもあり、2週間を2回、計4週間のディスカバリー休暇を取得し、短期留学のため渡航しました。通常の年次有給休暇でも短期留学は可能ですが、ディスカバリー休暇があることによって、チャレンジしやすかったと思います。

当社には、こうしたユニークな休暇制度だけでなく、働く場所や時間に縛られず、自分に合った柔軟な働き方ができる制度が整っています。仕事とプライベートがより一層充実したものになるよう、今後も、さまざまなことにトライしてみたいと思います。